

普及活動情勢報告（令和3年6月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

管理しやすい樹形を目指して！ ～ユズ講座を開催～



5月23日に北川村野友現地ほ場でJA安芸地区柚子部が「ユズ講座」を開催し、生産者や関係者ら22人が参加しました。

この講座は平日に参加できない生産者のために、年に3～4回日曜日に開催しているもので、今回は幼木期の重要な作業である「誘引」をテーマに行いました。

農業改良普及課は、誘引の目的や方法について説明し、JA営農指導員と実演しながら作業のポイントを指導しました。参加者からは、「樹の状態をよく見て誘引せんといかんね」といった声が聴かれ、誘引作業への理解が深まった様でした。

次回は8月ごろ病虫害防除や基本的な栽培管理技術をテーマに開催（座学）する予定です。

IoPクラウド「SAWACHI」の使い勝手は？



5月下旬、農業改良普及課は、管内のIoP協力農家であるナス、ピーマン生産者37人にIoPクラウド「SAWACHI」（プロトタイプ）に関する聞き取り調査を行いました。実際に「SAWACHI」を使ってみた感想や、改善点、今後のあり方等について調査した結果、「操作を簡単にしたい」、「データの分析結果をフィードバックしてほしい」、「提供される内容によっては有料でもよい」等多くの意見が出されました。

今後も農業改良普及課は、「SAWACHI」が生産者にとってより良いシステムになるよう生産者の意見を聴き、関係機関と情報共有していきます。

東洋町ポンカン振興対策協議会、初の総会を開催！



6月1日、東洋町役場で、生産者代表、JA、町、県で構成する東洋町ポンカン振興対策協議会の第1回通常総会が開催されました。

農業改良普及課室戸支所が、耕作放棄園でのサルによる被害実態や、ドローンでの防除作業について動画を使って説明したところ、生産者から多くの質問や意見が出され関心の高さが伺えました。

また、採用が決まった「地域おこし協力隊員」の受け入れ体制についても協議されました。

室戸支所は、今後も東洋町の特産ポンカンの産地維持のため、有害鳥獣対策への支援や後継候補者の栽培指導に取り組めます。

中芸地区就農支援ネットワーク会開催



6月4日、令和3年度第1回中芸地区就農支援ネットワーク会が田野町役場で開催され、中芸地区の関係機関、県立農業担い手育成センターら14人が参加しました。農業改良普及課は当会の運営を支援すると共に、令和3年度の県の新規就農者対策について説明しました。

その後、各町村の研修生や新規就農者の状況について意見交換を行うなかで「新規就農者に経営感覚を身につけてもらうための研修会が必要」との意見が出され、実施に向けて検討することが決まりました。

今後も農業改良普及課は、関係機関と連携し新規就農者の支援を行っていきます。